

■ 養生温度と硬化速度、接着発現性の関係

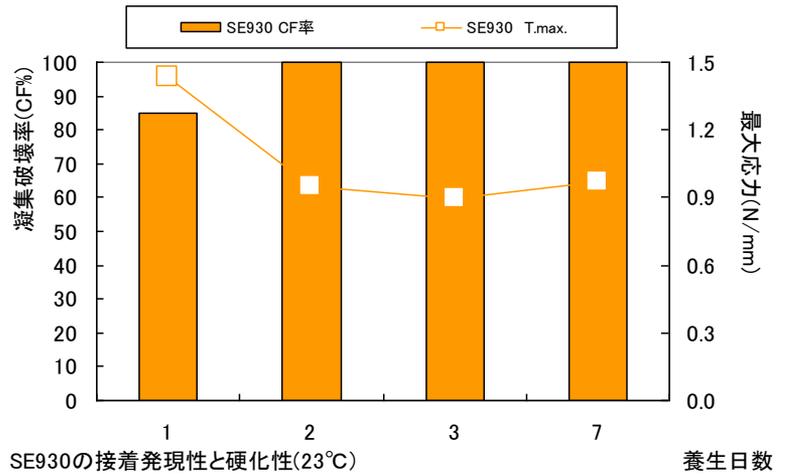
(使用被着体:フロートガラス 使用プライマー:プライマーD-3)

10°C以下の使用においては、硬化速度を上げるために硬化促進剤の使用を推奨します。

硬化促進剤を使用したときの硬化性、接着発現性は以降の表を参照ください。

- 測定条件: 23 ±2°C/50%RH

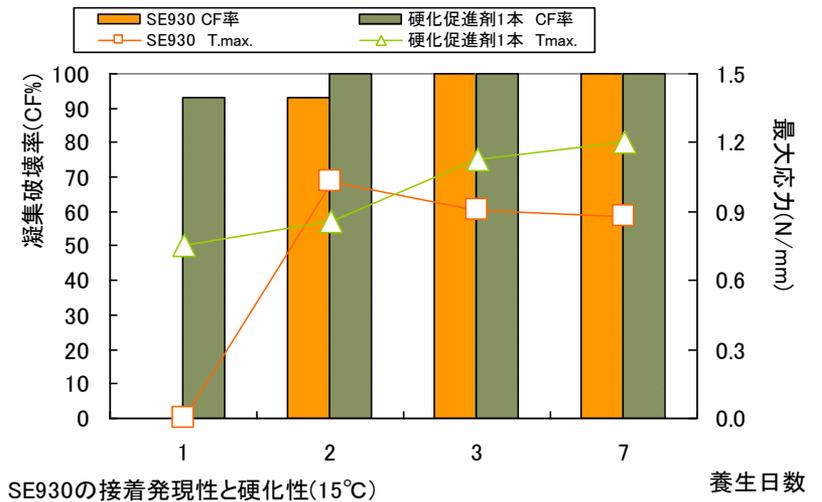
スナップタイム: 8 時間



- 測定条件: 15 ±2°C/湿度管理なし

スナップタイム: 8 時間以上

硬化促進剤 1 本使用: 3.5 時間

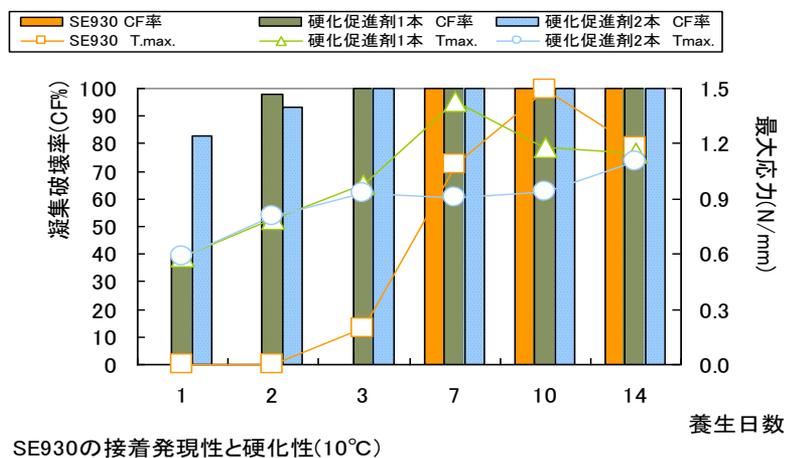


- 測定条件: 10 ±2°C/湿度管理なし

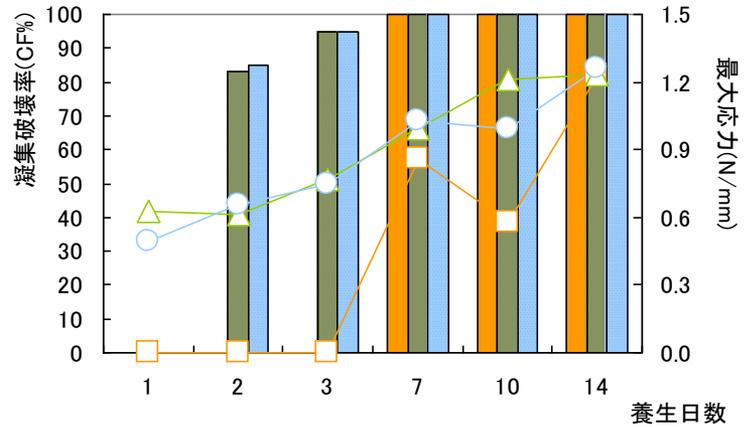
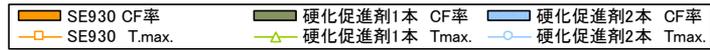
スナップタイム: 8 時間以上

硬化促進剤 1 本使用: 7.0 時間

2 本使用: 4.0 時間



- 測定条件: 5 ± 2°C/湿度管理なし
スナップタイム: 8 時間以上
硬化促進剤 1 本使用: 7.5 時間
2 本使用: 5.5 時間



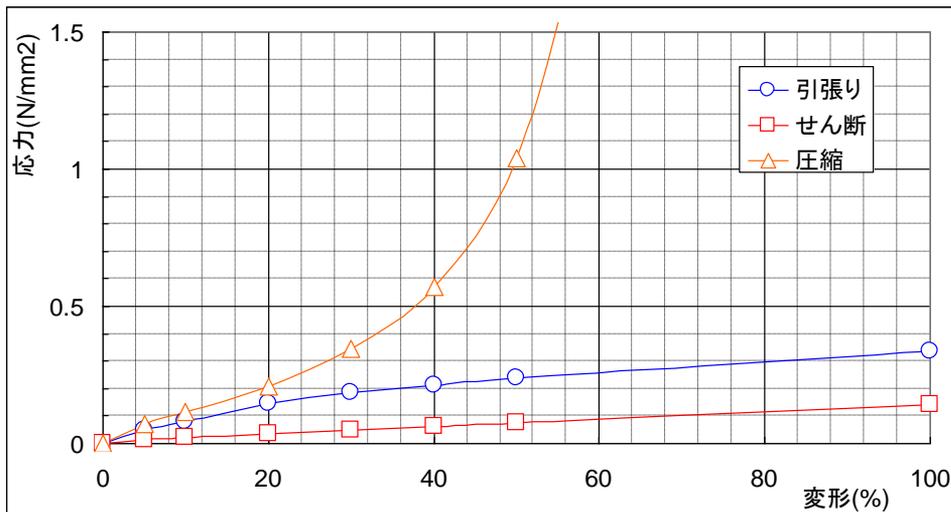
SE930の接着発現性と硬化性(5°C)

■ DOW CORNING TORAY SE 930 シーラントの引張接着特性

項目	条件	50% 引張応力 N/mm ²	最大引張応力 N/mm ²	最大引張応力時の 伸び率 %	シーリング材の 凝集破壊率 %
ガラス	養生後	0.23	1.15	544	100
	加熱後	0.19	1.07	548	100
	水浸漬後	0.21	0.85	494	100
	促進暴露後 *1	0.23	0.86	376	100
アルミ	養生後	0.23	1.02	503	100
	加熱後	0.19	1.06	556	100
	水浸漬後	0.20	0.77	492	100

*1 促進暴露 5000 時間後
[試験体] JIS A 1439 引張接着性試験体 [使用プライマー] プライマー D-3
[引張り速度] 50mm/分

■ DOW CORNING TORAY SE 930 シーラントの変化率と引張応力の関係



Dow Corning、ダウコーニングは、Dow Corning Corporation の登録商標です。
We help you invent the future は、Dow Corning Corporation の商標です。
XIAMETER は、Dow Corning Corporation の登録商標です。
© 2009 - 2014 Dow Corning Corporation. All rights reserved.